

広報

くのへ

2017
No.715

10



自分を攻め 風切り疾走

(9月5日 村小学校陸上記録会 関連記事24ページ)

主な内容

全国高文祭で伊高が3位……………	2～7	スポレクに227人……………	14
小学校を1校に再編へ……………	8～11	村では伊保内高校を応援します……………	18
村敬老会……………	12～13	村小学校陸上記録会……………	24

優良賞 3位

8月3日、宮城県名取市文化会館



未来へ躍動

全国高文祭



継承された魂

全国3位への軌跡

江刺家神楽をたどる

伊保内高等学校郷土芸能委員会は8月2日〜4日、宮城県名取市文化会館で行われた、全国高等学校総合文化祭において、優秀賞2校に次ぐ、優良賞に輝きました。

同委員会は前年度、県高等学校総合文化祭において優秀賞1席に選ばれ、全国の出場権を初めて獲得。長年の夢であった全国の舞台で、先輩から引き継がれてきた伝統の舞を堂々と演舞し、全国3位という輝かしい榮譽に選ばれました。今月は、同委員会が演舞した江刺家神楽が、全国3位に輝くまでの歴史や変遷についてたどってみます。



権現様を演じ悪魔払いをする江刺家神楽保存会
(写真はオドデ館初売りの春祈禱)

■江刺家神楽

江刺家神楽は江刺家を起源とする山伏神楽です。山伏神楽とは、権現様を奉じる山伏によって伝承された民俗芸能です。山伏とは、山岳に入って修行をした修験者のことで、修験者は靈力を持つ人として崇拜されていました。

権現様の働きは、悪魔払いで春祈禱(1年の始めにその年の家内安全を祈る行事)、防火、屋固めなどです。

■江刺家神楽の起源

奈良時代(710〜794年)頃、仏教勢力に追われた神信者12人が奥州に落ち延び、このうち一人が当村江刺家の家にわらじを脱ぎ、付近の山伏たちに

江刺家神楽を伝えたといわれています。

また、江刺家の新山神社の社司であった覚蔵坊が神楽を有していて、代々の社司(9代まで)に伝承されてきたともいわれています。

■江刺家神楽の歴史

江刺家神楽は江刺家地区のみに伝承されてきました。が、9代目福泉院によって、安政年間(1854〜1859年)から九戸全体に神楽を教えるようになったといわれています。

なお、瀬月内神楽については、明治初期の頃、桂川佐之太夫さんが道地の師匠に弟子入りをして、一人前となり、地域の人々に教えたと伝えられています。また、昭和40年頃までは

江刺家神楽が中心となり、九戸村全体から神楽衆(12〜13人程度)を集めて神楽衆を組織し、旧暦1月2日に新山神社に舞を奉納してから、旧山形村・野田村・旧種市町などの沿岸部を1カ月半程度かけて回っていたそうです。

■江刺家神楽の波及

県内の山伏神楽の3大系統
①早池峰山を中心とした地域「早地峰神楽系」
②三陸沿岸地域「黒森・鶴うづ鳥神楽系」
③県北地域「中山・江刺家神楽系」

江刺家神楽(中山神楽系も含む)は、岩手県北から青森県南地域(八戸南部藩領を中心)に広く波及しています。この地域では、江刺家系の神楽は「江刺家手」といわれていたそうです。

また、祈禱神楽の巡業も広域波及に影響しているものと思われま。ちなみに八戸市の法霊神楽は、「江刺家手」、「中山手」の両方の演目を演じています。



デビッド・マッシュューズジャズライブにも出演した伊保内高等学校郷土芸能委員会

■江刺家神楽保存会

中学時代に学校で神楽の体験をした青年たちと、江刺家青年会の会員たちによって、昭和58年に結成されました。新山神社総代長の強い要望もあり、有志8人によって立ち上げられました。

現在では、伊保内高等学校郷土芸能委員会で活動してきた20代の若い会員を迎えるとともに、また地元江刺家小学校をはじめ九戸中学校、伊保内高等学校への伝承活動を行い、後継者の育成を図りながら、県指定に向けて演目の復活に精力的に取り組んでいます。

■伊保内高等学校郷土芸能委員会

平成15年に郷土芸能の伝承を目的として、伊保内高等学校に郷土芸能委員会が設立されました。設立当時から江刺家神楽保存会からの全面的な支援の下、週2回のペースで練習に取り組みんでいます。村内をはじめ広域にわたり各種行事に積極的に出演し、勇壮な舞を披露して好評を得ています。

例年参加している岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会では、ここ数年で上位入賞を果たす演技力を身に付けてきており、平成28年度には初の全国大会出場の切符を手に入れました。

神楽甲子園に出場 猛暑の中 笑顔で演舞



神楽甲子園に出場した伊保内高等学校郷土芸能委員会（広島県安芸高田市）

7月29日～30日、広島県安芸高田市で行われた神楽甲子園に、伊保内高等学校郷土芸能委員会が昨年度に引き続き出場しました。

広島駅に着くと気温は33度。当日は救急車が出動する場面もありました。私たちは、安芸高田市の川根地区の人たちの手作り料理のもてなしを受け、他県の高校生と神楽を通して交流し、

成長できたと感じています。

出場に際しまして、いただきました温かい支援に感謝します。

（伊保内高等学校郷土芸能委員会顧問 石川千枝）

生徒の感想を紹介します。

▽会場となった神楽ドームに、地域の郷土芸能の伝承

活動に携わっている高校生が集まり、一人一人が真剣に取り組んでいて感動しました。（2年・佐々木空）

▽中盤の盆舞では客席からの拍手や歓声上がり、自然と笑顔が出て楽しく舞うことができました。演舞が終わり整列しているときに、客席の男性が笑顔でグットポーズをする姿が見えうれしかったです。（2年・本堂歩）

▽私は演舞後に楽屋で熱中症になり倒れてしまいました。演舞中はリズムが多少乱れても、他のみんなが合わせてくれて助かりました。神楽甲子園で学んだことを、これからの進路につなげていきたいと思っています。（3年・古館志穂）

▽当日はとても暑い中でしたが、たくさんの拍手と声援もあり、失敗はあったものの楽しく舞うことができました。開会式で登壇し学校紹介をしたことや、演舞後にはインタビュをされて対応したことなど、私自身成長できる良い機会となりました。（3年・秋元星良）

努力が実を結ぶ 夢の全国舞台



感謝を胸に、熱い思いを表現する伊保内高等学校郷土芸能委員会

伊保内高等学校郷土芸能委員会は8月2日～4日、宮城県名取市で行われた、全国高等学校総合文化祭に初出場しました。郷土芸能部門には全国から57校が出場。同委員会は優良賞を受賞し、優秀賞2校に次ぐ、

全国3位に輝きました。同委員会は昨年10月15日に行われた県高校総合文化祭において、優秀賞1席に選出。平成15年に同委員会が結成されて以来、長年の夢だった全国の出場権を獲得。初の大舞台で、プレッ

シャーに打ち勝ち、練習の成果を堂々と演舞しました。昨年度、卒業生を含む23人が県代表を獲得してくれました。お蔭で、立つことができました。念願の全国ステージ。生徒22人が、所属している部活動との両立を図りながら、継続して心と技を磨いてきました。たゆまぬ努力が実を結び、栄光の光を浴びることができました。

このステージに立つために、生徒たちは幾多の苦勞と挫折を経験。しかし、厳しい稽古にも音を上げることなく、不断の努力を積み重ねてきました。

生徒たちは、今まで指導を受けてきた感謝を胸に、力強く演舞。この躍動する舞が全国でも評価が高く、3位相当の優良賞に選出されました。

桂川恭輔君(2年)は「みんなが心を一つに演舞でき、拍手をももらえてうれしかった。全国の人たちに江刺家神楽を見てもらえたのが最高の喜び。今年は県で最高賞を取り、来年も全国のステージに戻ってきた」と意欲を燃やしていました。

去年まで委員会で活躍し、名取市まで応援に駆け付けた、本堂晴夏さん(18)と古館純奈さん(同)は、「自分たちができていなかったことができて、成長を感じた。笑顔で演じていて素晴らしかった」と、後輩たちをたたえていました。

田澤陽明子さん(2年)の晴れ舞台を見に来た、母・美佐子さん(49)は「娘が笑顔で踊りきっていて心の底から感動した。娘と一緒に達成感を共感できて親として最高」と、満面の笑みを浮かべていました。

伊保内高等学校郷土芸能委員会の生徒たちと、初の全国ステージに応援に駆け付けた皆さん



生徒の努力に感激

小井田重雄さん(61||田代)と中山勇一さん(65||江刺家上)、石川正さん(65||道地)は、平成15年に伊保内高等学校郷土芸能委員会が設立された当初から、生徒の演技指導に力を注いでいます。

平成6年からは江刺家小学校の運動会で、江刺家神楽を披露する場を設けました。平成24年からは九戸中学校でも、3年生が文化祭で江刺家神楽を披露するようになりました。



小井田重雄さん

伊保内高等学校郷土芸能委員会の指導に尽力。江刺家神楽保存会会長も務める。田代在住、61歳。

のは非常にうれしいです。

伊保内高等学校郷土芸能委員会が初の全国大会で3位を受賞し、大変驚いていきます。生徒たちが頑張ってきたことが認められ、高い評価をいただき非常に感激しています。

伊保内高等学校の生徒はチャレンジ精神が旺盛で、無限の可能性を感じます。

江刺家神楽の特徴は力強さの中にある繊細な動きです。無形文化財として村指定を受けている江刺家神楽を、今後は県指定、さらには国指定になるよう継承していきたいと思っています。

伊保内高等学校
郷土芸能委員会委員長

秋元星良さん(3年)



先輩の思いを胸に

最初、ステージに上がったときには緊張していたけど、踊り始めたら徐々に緊張が解けてきた。本番では失敗することなく、練習の成果を發揮して踊ることができて良かったと思う。

郷土芸能委員会には2年生から所属しているが、先輩たちの思いを引き継いで演舞できたと思う。今まで練習を多く積み重ねてきた

ので、自信を持って踊ることができた。

先輩たちの努力のお蔭で立つことができた、全国の晴れ舞台。先輩の思いを胸へ感謝の気持ちを入れて舞うことができて良かった。

22人全員が精いっぱい演舞することで、思いを伝えることができたと思う。達成感でいっぱいです。

伊保内高等学校
校長

菅原尚志さん



支援と声援に感謝

郷土芸能委員会発足から15年、江刺家神楽保存会の皆さまの長年にわたる熱心な指導に感謝申し上げます。委員会は正規の部と掛け持ちで活動する有志の集まりですが、今や伊保内高校を代表する活動になりました。委員会の22人は、運動部の主将や生徒会役員も多く本校を代表する生徒たちです。昨年の神楽甲子園への出

場や県高総文祭優秀賞1席、今年の全国高総文祭優良賞の受賞は、この生徒たちの取り組みが県や全国のレベルで高く評価されたものとうれしく思います。

本校が小規模校にもかかわらず成果を挙げることができるのは、ひとえに皆さまからの多大な支援と温かい声援のお陰であると、あらためて感謝申し上げます。

8月30日、漆原一三教育長に「将来を担う九戸村の子どもたちの望ましい教育環境のあり方について」の答申が提出されました。

これは平成28年10月に、村教育委員会が望ましい教育環境あり方検討委員会の田代高章委員長(岩手大学教育学部教授)へ諮問した結果が答申されたものです。今回、提出された内容についてお知らせします。(検討委員会の協議内容は、4月と8月に全世帯に配布した、検討委員会だよりを参照ください)

小学校を1校に再編へ

課題解決に向け 小中一貫教育の導入

■望ましい教育環境あり方検討委員会

望ましい教育環境あり方検討委員会は、村の子どもたちの望ましい教育環境整備に向けて、各検討委員の意見を基に協議、集約し答申することを目的としています。

村内の小学校は140周年を数える歴史と伝統を兼ね備え、人々の智慧と汗と涙によって絆を深めてきた

地域住民の生活のよりどころとなっております。

その学校を再編し歴史を閉じることや、予想される厳しい判断を迫られることを認識しながらも、常に子どもたちの望ましい教育環境のあり方を検討することを確認します。

村教育委員会では、平成16年度に策定された村行政改革プログラムによって、平成19年度に小学校再編に向けて保護者へのアンケート

ト調査や地域ごとの懇談会を開催した経緯があります。

その結果、当面、地域の学校を無くしたくない思いを大切にするとしていますが、その後の行政改革プログラム、新九戸村総合発展計画には、学校統合が検討事項となっております。

本委員会での協議が、村の将来を担う子どもたちの教育環境整備に反映されることを強く願うこととしています。

■村の子どもたちの現状

①村の児童生徒数の推移
 村の児童数の推移は、昭和35年度1854人をピークとし、平成元年624人、平成20年311人、平成29年4月3日現在で256人、平成34年度予想児童数は、220人となっております。昭和35年度のピーク時と比較し、本年度は13.8% (1598人減)と驚くべき

数字となっております。

また、平成34年度の児童数は本年度と比較すると、緩やかな減少ではありますが、36人の減、現在の村内の小規模校1校が無くなることとなります。今後の村人口ビジョンの計画を考慮した場合でも、児童数の急激な増加は見込まれず、現状維持で推移するものと想定されています。



望ましい教育のあり方について田代委員長(左)から答申が提出

九戸村の目指す子ども像・人間像

ふるさと「くのへ」を思い、 夢に向かって羽ばたく人

- 自ら考え、共に学び、高め合う子
- 人を大切にし、想像力が豊かな子
- 自ら健康で、たくましい心を育む子

ふるさと「くのへ」を思い、夢に向かって羽ばたく人について

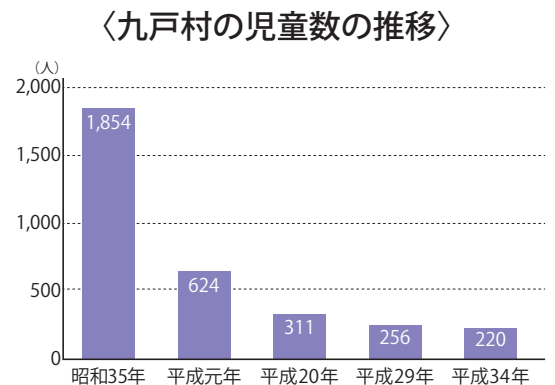
- 九戸村に誇りを持ち、ふるさとを大切に思う気持ち
- 九戸村の歴史や文化、自然環境や産業などについて学ぶことを通じて、人の営みを感じ、自分も地域のために何ができるかを考えようとする事
- 未来に夢を広げ、その実現に向けて九戸村で学んだことを基に歩いていくこと

▽生きる力を身に付けた、村の将来の子どもたちの望ましい教育環境づくりであることを大切にします。

▽そこで、本検討委員会では文科省の手引きを参照し、「生きる力」を身に付けた村の子どもたちの将来像に向けた協議の柱を次のようにしました。

■**学校規模の適正化**
適正規模・適正配置を検討する際、最も大切にしなければならぬことは教育的な視点です。

学校規模の適正化



②学校規模の現状

児童数減は学校規模、学級編制にも大きく影響しており、全ての小学校が小規模校です。そのうち4校が複式学級を抱え、単式学級には、人数が1桁の学級も存在しています。

「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き」の学級数による学校規模の条件によると、伊

保内小学校は小規模校（6学級）、長興寺・戸田・江刺家小学校は、過小規模校（1～5学級）、山根小学校は極小規模校（3学級）に分類されます。

平成27年1月の文科省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置などに関する手引き」によると、村内全ての小学校は、学校再編・統合に向けて早期に検討する規模となります。

▽学校規模の適正化の検討は、さまざまな要素が絡む困難な課題ですが、あくまでも児童生徒の教育条件の改善を中心にとらえます。

▽児童生徒は、集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることを大切にします。

▽一定規模の児童生徒集団が確保されることや、経験

年数、専門性、男女比などについて、バランスの取れた教職員集団が望ましいことから、一定規模を確保することを大切にします。

▽これからの時代に求められる教育内容や指導方法の改善の方向性も十分勘案しつつ、現在の学級数や児童生徒数の下で、具体的にどのような教育上の課題があるかについて、総合的な観点から分析を行い、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、学校統合の適否について考えます。

小学校を1校に再編へ

○小学校の適正規模・適正配置

- 村内1校に再編
- 10〜12学級規模の学校
- 1学級当たりの人数
- 最低18〜20人程度の学級

国の適正規模の基準である12〜18学級に近づけることが、本村の子どもにとって学校生活が適切に行われ、小規模校のメリットを生かしながら、デメリットは解消できるとの方向で検討しています。

アンケート結果は、村内小学校近隣校との再編が37%、村内1校に再編が36%と、ほぼ同じような結果でした。その中で、近隣校との再編を望む意見の中でも、段階ごとに村内1校とする意見がありました。アンケート結果を大切にしながらも、現状や今後の児童数の推移から、村内小学校近隣校との再編よりも、村内1校に再編し、普通学級が10〜12学級となる学校規模が、子どもたちの望ましい教育環境と考えます。

■適正配置の基準

- 通学距離
- おおむね4 km以内
- 通学時間
- 1時間以内
- 通学方法
- スクールバスの利用

村内1校に再編した場合、現在の子どもたちの通学距離は、国基準の4 kmを超えることとなります。平成20年度に統合した旧宇堂口小学校区や、九戸中学校の子どもたちはスクールバスを利用しています。

このことを踏まえ、スクーリングバスの運行によって子どもたちの学習に支障をきたさないようにすることや、通学時の安全確保に十分配慮することとし、次のような適正配置の基準とします。また、村内1校の再編は、中学校との連携をより深める機会ととらえ、現在の課題や今後求められる学校教育の課題を踏まえ、5つの教育課題の解決につなげることで、子どもたちの望ましい教育環境と考えます。

■小中一貫教育と本村の教育課題

- ① 中一ギャップの解消
- ② 特別支援教育の充実
- ③ 学力保障・質の高い授業
- ④ 教職員間の相互連携
- ⑤ 英語教育の充実

小中一貫教育の取り組みと適正配置は大きな関連があります。検討委員会では、施設一体型小中一貫教育を導入することが、教師による子どもたち一人一人の実態に応じたきめ細かい指導や、義務教育期間全体を見通した一貫性のある教育が実現できる望ましい教育環境と考え、5つの教育課題と小中一貫教育の導入による教育効果について検討しました。

① 中一ギャップの解消
9年間、長期的・継続的な視点を持ち、児童生徒との理解を深めて指導に当ることができそうです。運動会や文化祭など、小中の合同行事を開催し、多様な人間関係づくりを通し、社会性を



村内5校の小学生児童が
出場した村陸上記録会

養うことや日頃から中学校生活を身近に感じることから、中学校進学時の不安や心理的段差を解消することが期待されます。

② 特別支援教育の充実

特別支援学級在籍者同士の交流、普通学級との交流学習、また小中の子どもたちの交流を進めることによって、学びの質を高め、社会性や共生の心を育むことや、全教職員による情報共有と、個に応じた指導支援を進めることができます。

小中の特別支援担任、スクーリングカウンセラー、特別支援員の組織によって、9年間を見通した指導に当ることが期待されます。

③ 学力保障・質の高い授業

小中9年間の指導事項の関連性や、児童生徒の学習状況を考慮した小中教職員の授業公開や小中合同研修会を開催し、指導力や授業力の向上に取り組むことができます。小学校のきめ細かな指導や、中学校の専門性を生かした乗り入れ授業を行うことができます。

小学校の児童は、中学校教員の専門性のある指導によって学びを深め、中学校生活に期待を膨らませることができそうです。

中学校の生徒は、生徒の実態を理解している教員が、TT指導（複数の教員が協力して授業を行う指導）に入ることで、安心して学習に取り組むことが期待されます。

～望ましい教育の答申が提出～

④教職員間の相互連携

小中一貫教育推進は、小・中学校の文化の違いによる、教職員の意識が鍵になると言われます。小中連携して9年間の子どもの学びのために、小・中学校一体の学校運営組織や9年間の学びの区切りを工夫することによって、小中教職員が一層連携した教育活動を展開し、小中の滑らかな接続を図ることが期待されます。

⑤英語教育の充実

次期学習指導要領では、小学校5・6年生に外国語科が導入されます。外国語科は現在、外国語活動として授業している内容から、話す、聞く、読む、書く内容となり、中学校の外国語科と指導事項の関連性が重要となっており、乗り入れ授業などによって、小中の英語学習の滑らかな接続が期待されます。

■学校配置の方向性

①学校配置検討の基本的な考え方

小学校1校への再編は、地域と共に140年を超える長い歴史を歩んできた学校を閉じることとなり、学校が無くなる地域にとっては大きな問題となること予想されます。

本委員会では、各学校と歴史を共に歩んできた学校場所を十分尊重しながらも、子どもたちの望ましい教育環境づくりを大前提に協議することとしました。

②学校配置の方向性を検討する際、留意したこと

▽配置基準を大切にすること
再編後は、多くの子どもたちがスクールバスを利用することとなる。その際、乗降などが安全に行われることや教育活動に支障をきたさないよう留意すること。
▽小中連携教育の推進を図ること

施設一体型の小中一貫教育の導入が円滑に行われ、教育活動が充実するよう留意すること。



村内5校の小学生児童が一緒に音楽を学習

▽既存施設の活用を含めて学校場所を検討すること
現小学校、九戸中学校の配置場所を考慮しながら検討する学校配置については、子どもたちの望ましい教育環境の観点から慎重に検討するよう留意すること。

▽子どもたちの望ましい教育環境づくりにつながる施設設備とすること
小学校再編1校は、将来を担う子どもたちの学習環境にふさわしい校舎を新設し、施設一体型の小中一貫教育が充実する設備を整備するよう十分留意すること。

■諸課題について

①児童生徒の安全確保

再編後には、ほとんどの子どもたちがスクールバスを利用することとなります。通学時の安全確保を第一としながら、スクールバスの乗降場所、運行時間、小中学校の児童生徒の利用方法などについて検討する必要があります。併せて、学童クラブや放課後子ども教室などが充実するよう検討する必要があります。

②教育活動の充実

村内5校では地域の教育

力を生かし、継続して取り組む、特色ある教育活動が展開されています。先人の知恵や生きる技、地域の伝統芸能や農業体験活動を通して、食文化に触れる活動が展開されています。

本村の貴重な文化遺産が子どもたちに引き継がれており、これらの活動が未永く継承されるよう、十分検討する必要があります。

③再編後の施設利用

再編後の校舎などの活用については、新九戸村総合発展計画に生かすことと、地域住民の意見を十分反映させる必要があります。

村教育委員会ではこの答申を最大限に尊重し、村教育委員協議会を開催し、再編後の学校配置場所などについて、子どもたちの望ましい教育環境の観点から慎重に検討し、基本計画案を作成します。作成した計画案は来年1月に住民説明会を

開催し、保護者や地域住民の意見を伺い、修正を加えながら来年8月の完成を目指しています。
今回、提出された答申全文は、村ホームページに掲載しています。
■問い合わせ
教育委員会教育総務班 ☎42・2111内線302

壮健なる長寿祝う

村敬老会 75歳以上1411人



五枚橋久夫村長から記念品と敬老年金が手渡されました（戸田地区会場）

村敬老会が9月16日、村内3会場で開かれました。75歳以上の対象者が1411人いる中で、多くの人が会場に集まり、壮健なる長寿を祝福しました。

式典で五枚橋久夫村長は「生まれ育った村に誇りと愛情を持ち、皆さまが守り抜いてきた良き物を、将来を担う子どもたちに引き継いでいきたい。住み慣れた地域で、心豊かに暮らせるよう一層努力していきます。皆さまのさらなる長寿と活躍を祈願します」と祝福の言葉を述べました。その後、五枚橋村長から祝福される一人一人に、記念品と敬老年金が贈呈されました。

式典後、参加者は料理を楽しみながらお互いの長寿を祝福。これまでの活躍をたたえ合うとともに、健や



祈りました（伊保内地区会場）



婦人会が歌や踊りで長寿を祝福しました（伊保内地区会場）



記念品を贈り、長生きを祝福しました（江刺家地区会場）



長寿、米寿、喜寿を迎えた人たち一人一人へ、



戸田保育園の園児が遊戯を披露し、未永い健康を祈願（戸田地区会場）

かなる長寿を喜びました。
会場には園児も駆け付け、花束を手渡し、さらなる長寿を祈願しました。また、婦人会による歌や踊り、園児によるダンスなどが披露され、祝宴に花を添えてくれました。

高倉トキさん（84歳 泥の木）は「毎年、この日が楽しみ。めんこい園児を見てうれしい。大切な仲間と交流ができて幸せ」と笑顔を広げていました。



歌で祝宴に花を添えてくれた、村介護予防教室の参加者（戸田地区会場）



お祝いの品を贈呈し、健やかに過ごせるよう

m u r a n o w a d a i むらのわだい



幅広い年齢層が参加し、親睦を深めながら競技したビーチボール

スポレクに 227 人 スポーツで育む交流の輪

村民スポーツ・レクリエーション大会は9月3日、5種目に227人が参加し各会場で行われました。柔らかな陽光が降り注ぐ中、参加者は勝利を目指すとともに、仲間との親睦を深めました。今回は5種目が同日開催され、競技を楽しみながら、交流の輪を育みました。ハイキングには48人が参加し、二戸市にある稲庭岳で景色を楽しみながら山歩きに汗を流しました。各種目の優勝者は次の通りです。(敬称略)

- パークゴルフ▷男子①坂本安勝②安藤孝作③月花三男▷女子①三澤由紀子②上村愛子③大川マサ子
- グラウンド・ゴルフ▷男子①尾友仁三郎②小野寺徳三郎③小川登▷女子①千葉トセ②澤頭マサ③中野カツ
- ビーチボール①南部美人②災害レスキュー 2017 ③S タック 5
- ソフトボール①戸田②伊保内 2区③伊保内 1区



交流を育みながら競技を楽しんだグラウンド・ゴルフ



和やかに親交を深めながら試合に熱中したソフトボール

村畜産まつりに 41 頭 自慢のベゴ 優劣競う

村畜産まつりは9月2日、新岩手農業協同組合九戸支所駐車場で行われました。共進会には畜産農家が手塩に掛けて育てた牛41頭が持ち寄られ、乳用牛と黒毛和種が月齢別13部門に分かれて優劣を競いました。あいにくの雨模様にもかかわらず、この日を待ち望んでいた家族連れなどが多く集まり、共進会を楽しんでいました。

会場では餅つき実演も行われ、つきたての餅は来場者に無料提供されていました。特別価格で販売された牛肉には、販売前から長蛇の列ができていました。さらに九戸村産の豚肉や県内産の牛肉が無料で振る舞われ、人気を集めていました。優秀な成績を収めた出品者を紹介します。(敬称略)



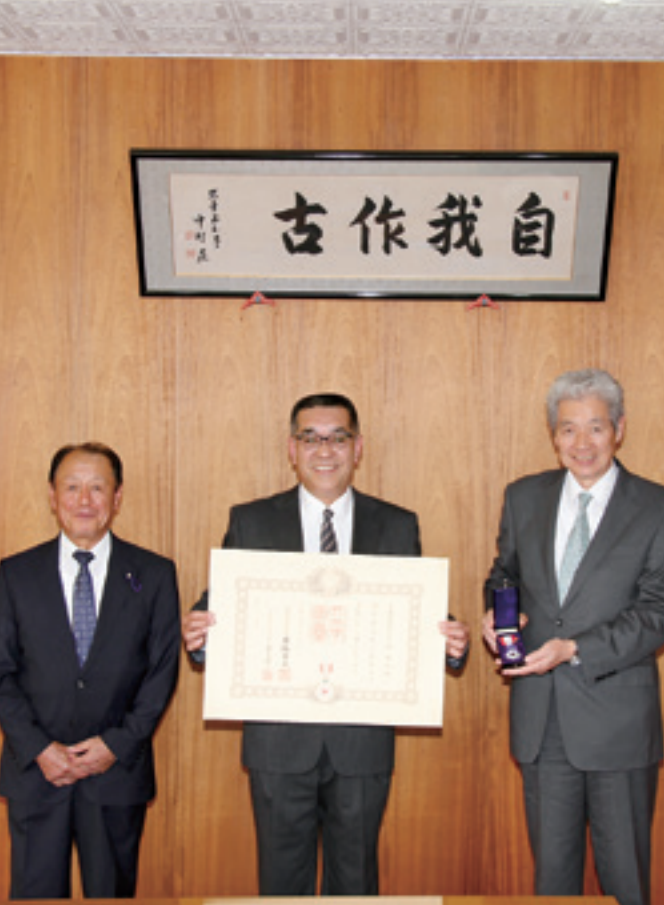
ベゴの骨格構成や品位などを競いました

《家畜共進会褒賞牛》

表彰区分	乳用牛		黒毛和種	
村長杯	田澤 太朋		千葉 一孝	
最優秀賞	未経産の部	欠端 浩美	未経産の部	千葉 光男
	経産の部	田澤 太朋	経産の部	千葉 一孝
優秀賞	第1部	欠端 信雄	第1区	大崎 幸夫
	第2部	欠端 浩美	第2区	千葉 光男
	第3部	欠端 浩美	第3区	千葉 一孝
	第4部	田澤 太朋	第4区	大崎 善孝
	第5部	欠端 信雄	第5区	千葉 一孝
	第6部	田澤 太朋	第6区	千葉 一孝
	第7部	田澤 太朋		



特別価格で販売された牛肉には長い列ができていました



故白梅勝太郎さんの旭日単光章受章を喜ぶ長男・勝行さん（中）

旭日単光章の荣誉 故白梅勝太郎さんに叙勲

故白梅勝太郎さん（田代）が旭日単光章を受章し、9月14日に村役場村長室で伝達式が行われました。長男・勝行さん（55＝田代）に、五枚橋久夫村長から賞状と勲章が手渡されました。

勝太郎さんは昭和50年から延べ4期16年にわたり、村議会議員として在職。この間、総務常任委員会委員長などを務め、村勢発展のために所得向上や道路交通網の整備促進に尽力。また、常に村民の立場に立ち、村民生活の向上に資する提言を行い、地方自治の伸展に多大な貢献をしてきました。

勝行さんは「功績が認められたことは非常にうれしい。父の意思を引き継ぎ、村のために貢献していきたい」と喜んでいました。



子どもから年配の人まで



会話を弾ませながら汗を流したパークゴルフ



威勢のいい太鼓や歌声に合わせ、輪になって踊る来場者

オドデ塾夏祭り盆踊り大会 活気あふれ大盛況

オドデ塾夏祭り盆踊り大会は8月14日、道の駅おりつめオドデ館前で行われ、帰省客などが多く集まりました。昼食の前後に開催されたイワナつかみ捕り大会にはそれぞれ約40人が参加し、子どもから大人まで歓声を上げながら、生きの良いイワナを追いかけていました。盆踊り大会では用意していたうちわ500個がすぐに無くなるほどの盛況ぶり。来場者は出店で売られている美味な軽食を味わいながら、掛け声を掛けて輪踊りを満喫していました。細川健治さん(76＝細屋)は「うわさを聞きつけ今年初めて来てみた。神楽も民謡もにぎわっていて楽しい」と顔をほころばせていました。

小学生がフラダンスを観賞 踊りから学ぶ文化や精神

9月11日、県青少年劇場はHOZホールで開かれ、村内小学生122人が「ALoha!フラ」をテーマにした、フラダンスの観賞を楽しみました。華やかな衣装を身にまとった出演者は、打楽器・イブヘケやウクレレなどを使用し、歌を歌いながら陽気にダンスを披露。また、鳥の羽根で作られたウリウリやひょうたんをくり抜いたイブの楽器演奏を児童15人が体験。児童たちは肉声に合わせてうれしそうに踊っていました。ステージでは、ハワイに根差した文化や精神、恵まれた環境を体や楽器を使って華やかに演じ、感情豊かに表現していました。



打楽器・イブヘケ（写真手前中央）の演奏に合わせてフラダンスをみんなで踊りました

風張己之松さん笑顔で100歳祝う



100歳を祝福される
風張己之松さん（前列中）

風張己之松さん（山根）は9月7日、100歳の誕生日を迎え、家族たちと長寿を祝いました。五枚橋久夫村長が自宅を訪問し、花束と長寿祝い金を手渡し祝福。風張さんの元気の秘けつは歩く事だそうです。今年からはデイサービスに通い始め、お風呂に入りに行くのが毎週楽しみとのこと。これからも健やかに過ごすことを祈願します。

元気はつらつ競技楽しむ

九戸政實杯ゲートボール親善交流大会が9月7日、村総合運動場で開かれました。最高気温は22度と過ごしやすい中、政實公ゆかりの11市町村から27チームが出場。村内からも4チームが参加し、90歳以上の人も元気はつらつと、交流しながら競技を楽しんでいました。競技の結果、長興寺は4戦全勝でしたが、得失点差で4位となりました。



協力しながらプレーを楽しんだ長興寺チーム

下川原一将君が最優秀賞



力強い発表をし、最優秀賞に輝いた下川原一将君

わたしの主張二戸地区大会が9月6日、二戸市金田一中学校で開かれ、下川原一将君（九戸中3年）が最優秀賞に輝きました。

九戸神楽保存会に所属している下川原君は、「海外派遣を経験し、建築物や遺産を見て、畏敬の念や伝統を継承していく大切さを肌で感じた」と主張。「神楽を演じて、文化や熱い思いを継承していきたい」と発表。下川原君の主張が見事、最優秀賞に選ばれ、9月14日に滝沢市で行われた、県大会に二戸地区代表として出場しました。

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆

橋本 暉生くん

10月5日生まれ／次男／伊保内上
(父)義幸さん(母)宏美さん

「いつも笑顔で元気でいてね！」
パパとママより



野田 菜愛ちゃん

10月6日生まれ／長女／戸田下
(父)舞斗さん(母)真梨子さん

「とってもめんこいカンナちゃん♡
たくさんの人から愛される子になっ
てね!!」パパ・ママより



会話弾ませ和やかにプレー



交流を育みながら
競技を楽しみました

9月21日、村総合運動場で九戸政實杯グラウンド・ゴルフ交流大会が行われました。柔らかな陽光が降り注ぐ中、政實公ゆかりの12市町村から241人が参加。5〜6人ごと24組に分かれて、合計打数を競いました。八幡平市や滝沢市などからも集まった参加者たちは、会話に花を咲かせながら和気あいあいと和やかに競技を楽しんでいました。

友達の輪 30



関口 祐輝さん
32歳・川向

オートセレクトクシヨンサンライズで整備士として活躍しています。妻・由真さん、長女・鈴菜ちゃん（1歳）を含め、家族6人で暮らしています。

◆趣味は？ 車が好きで、整備を手掛けることがあります。家族でドライブに出掛けることも多いです。

◆一番の楽しみは？ 鈴菜の成長を見るのが楽しみです。

◆幸せに感じる時は？ 鈴菜に「パパ」とせがまれたときが幸せですね。

◆将来の夢は？ 鈴菜が元気に成長してくれることが一番の願いですね。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

元気スマイル 31



下村 藤男さん
昭和14年3月10日生・78歳（荒谷）

20歳に結婚し子供3人に恵まれ、葉タバコを生産してきました。

◆趣味は？ 組踊りなどを踊ることが好きで、津軽三味線も弾くよ。

◆元気の秘けつは？ 食事後に歯磨きは欠かかず、20本以上の自分の歯でおいしく食べているよ。

◆楽しみは？ 孫やひ孫が集まり、せがまれたときはうれしいね。

◆一番の思い出は？ 村消防団第11分団で初めて積載車を購入したことがきっかけで、車の免許を取ってきたことだね。

むらの文芸

第353回 くのへ俳句会

菅野 岑子

夕風の静かに渡る鉄線花
楓大樹花こまやかに降らしめる
蓮咲くや手のひらほどの池にかな
大作の墓石小さく蟻の這う
牡丹のうち重なりて崩れけり

田村 畦畔

燈火親し早めの夕餉酌み交し
母墓前一際冴えて濃りんどう
般若心経目覚めて暗誦夜半の秋
コスモスに我が家囲まれ花園に
新調の眼鏡をかけて敬老日

夕顔の余りに大きく畑に寝る

冬部 雪女

鯛雲古代を語る遺跡群
句を愛でる余生賜わり灯火親し
濃りんどう活けてもてなす杉が宿
標立つ赤べこ街道こぼれ萩
主婦の座をゆずりて久し秋の風
花野道小学唱歌くちずさむ

高島ふみ女

幸せは身近にあるもの鯛雲
捨てきれず灯火親しや恋文を
りんどうの咲き継ぎゆけり段々に
秋茄子の紺深まりて旨味増す
暮れなずむ季の移ろいや処暑過ぎし
蜻蛉やのの字になりてつながれり

館村 青村

鯛雲海へ十里の片田舎

濃竜胆旅の途中の直売所
気違いのミサイル飛んで秋の空
露の宿故国離れず老いにけり
産土の川の幾瀬や水澄めり
連れ立ちて翁媪の展墓かな

（畦 畔）

【八月席題詠より】
萩刈と一家総出も懐しく
草取りも出来ず呆然畑を見る
この速さ小さき西瓜も丸丸と
秋風や蔵書にうもれ庵に住む
おっぱの髪さらさらと萩の風
散歩道小さな秋が目に見に
晴れ晴れと白萩映ゆる山居かな
葉月句座一期一会の至福かな
水澄みて清やかに流る小川かな

（雪 女）

（青 村）



村では

伊保内高校を応援します!!



村では、地域に根差した活動や福祉施設でのボランティア活動、インターハイや郷土芸能委員会の活躍など、九戸村を元気いっぱいしてくれる伊保内高等学校の生徒の皆さんを応援します。その支援内容について紹介します。

郷土芸能委員会補助

創立15年目を迎え、本年度は2年連続で神楽甲子園に出場、さらに、全国高文祭に初出場し、優良賞に輝いた伊保内高校郷土芸能委員会を応援しています。(支援額 70万円)

部活動補助

生徒の教育活動や部活動に伴う、バス借上げ代などの補助や野球場・体育施設の無料開放を実施し、部活動の振興を図り、活力ある学校づくりを支援しています。(支援額 28万円)

進路指導・学力向上対策

特別講習、大学・企業見学会、模擬試験指導、就職活動支援、大学入試に向けた基礎力・応用力養成のための教材費の助成を実施しています。(支援額 320万円)

通学・給食支援

通学バスの定期券・回数券購入の5割以内を補助しています。また、完全給食を実施しています。(平成29年度から給食費の半額を村で補助)(補助額 158万円)

青少年海外派遣

海外での交流、学習、経験によって国際理解を促し、将来、世界的視野に立って行動できる人材育成のため、青少年海外派遣事業を実施し、補助対象経費の7割を補助しています。(1人当たり 補助額 22万円)

新入生合宿研修補助

高校生の自覚・学習方法・集団生活の心得を学び、生徒と教師の人的交流を深めるため、新入生の合宿研修を実施しています。(支援額 18万円)

塾への通学支援

国公立大学合格を目指し、入試情報に優れる盛岡市内の予備校で実施する各種受験対策講座を受講する場合の通学費を支援します。(支援額 24万円)

就職支援相談員設置支援

生徒の就職に関する個別相談、就職説明会、就職対策講座、職業指導などを行う就職支援相談員設置のための支援を行っています。(支援額 112万円)

夢の実現
A Dream Come True

九 戸 中 学 校

新人戦地区大会

二戸地区中学校
新人大会は9月9
日と10日、軽米
ハートフル球場な
どで行われました。
た。九戸中学校か
ら出場した選手た
ちは、みんなが精
一杯頑張った、次
のように好成績を収
めました。

見事、県大会への出場権
を獲得したチームと選手を
紹介します。(敬称略)

■団体
バレーボール男子・優勝
バスケットボール女子・優
勝

柔道男子・準優勝
卓球男子・準優勝

■個人
柔道男子90kg超級
山本司・優勝

柔道男子81kg級

澤口悠聖・準優勝

柔道女子63kg級

月花美羽・優勝

卓球男子

川原歩士・準優勝

関向佑太・4位

ソフトテニス女子

坂野上彩夢・田澤愛里菜

ペア・3位

以上、好成績を収めた選
手たちは、10月14日・15日
もしくは、11月18日・19日

Books 今月のお薦め図書

月の満ち欠け

佐藤 正午 著/岩波書店



第157回直木賞受賞作。自
分が命を落とすようなことが
あったら、もう一度生まれ変
わる。

月のように、一度欠けた月
がもう一度満ちるように…。
そしてあなたの前に現れ
る。戸惑いと戦りつづめてに
知る、運命の愛。

夜空に泳ぐチョコレートグラミー

町田 そのこ 著/新潮社



第15回R18文学優秀賞。
世界が変わるほどの恋。そ
して全てが反転する秘密。抜
けてしまった歯が思い起こさ
せるのは、一生に一度の恋。
どんな場所でも必死に泳い
でいこうとする5匹の魚たち
を鮮やかな仕掛けで描いた連
作集。

ニャンだか生きるのがラクになる 「菜根譚」の教え

守屋 洋 著/PHP研究所



幸せか、そうでないか
はあなたの心次第。
厳しい時代を生き抜く
知恵が詰まった、不朽の
名著「菜根譚(たん)」の
言葉と、気ままでかわい
い猫の写真があなたの味
方になる本。

イモリくんヤモリくん

松岡 たつひで 作/岩崎書店



名前も姿も似た2
匹の大冒険。イモリ
が生まれた池で人間
の子どもにつかまっ
てしまう。イモリを
助けたのは家にいた
ヤモリ。そこから2
匹の冒険が始まる。

○開館時間/平日9時~19時・土日祝9時~17時
○休館日/年末年始

伊保内高校 皆川大輔君が全国大会へ

教諭 小田島 哲男

県高等学校相撲新人大会
が9月10日、八幡平市松尾
相撲場で開催されました。
伊保内高等学校からは皆川
大輔君(2年)と三津谷竜
太君(同)が出場しました。

団体戦は本校と平館高校
盛岡農業高校の3校のリー
グ戦で優勝を争いました。
本校から出場した2人は健
闘するも残念ながら1勝も
できず、3位となりました。

に行われる、県中学校新人
大会に出場します。応援よ
ろしくお願いします。
(副校長 山崎弘貴)

個人戦の体重別では、80
kg級で皆川君が見事優勝。
東北大会(10月21日、八幡
平市松尾相撲場)と全国選
抜大会(平成30年3月17日
~18日、高知県春野町)へ

の出場権を獲得しました。
当日は、緊張して始めの
団体戦から動きが悪く心配
しましたが、皆川君は自分
の相撲を取ることででき、
優勝に輝きました。今後も
上位入賞を目指して頑張っ
てもらいたいと思います。



皆川君(右)と三津谷君が団体3位

認知症を正しく理解しましょう

■ 5人に1人が認知症

認知症は脳の病気です。アルツハイマー病や脳血管性認知症など、脳が萎縮したり、小さな脳梗塞の発生が原因で、脳の働きがうまくいかなくなり、最近では65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。

■ 記憶障害や理解・判断力障害

主な症状としては、覚えられない・すぐ忘れるなどの「記憶障害」、時間や場所が分からない「見当識障害」、考えるスピードが遅くなったり新しい機械の仕組みが理解できない「理解・判断力障害」などがあります。

■ 安心環境や言葉掛けが大切

他には、本人の性格や周囲の環境・人間関係などが影響して、さまざまな症状が出てくる場合があります。周囲が気付くより先に、本人は自分が自分でないような感覚、何かおかしい、と気が付いています。

不安になったり、自分は忘れて

なんかいない、という感情が、物盗られ妄想・うつ状態・徘徊などの症状を引き起こします。これらは、安心できる環境や言葉掛けで改善することが多くあります。

起きた出来事は忘れても、そのときに抱いた喜びや怒りなどの感情は残ります。ぜひ、穏やかに、柔らかい表情で接することを心掛けましょう。

■ お互いに声を掛け合しましょう

認知症は誰もががかりうる脳の病気です。早めの気付きと病院受診で、進行を遅らせる薬が有効になります。気になる症状があったら、物忘れ外来などをできるだけ早期に受診しましょう。

認知症になっても、なじみの場所や人とのつながりが続くことで、その人らしく暮らすことができます。介護で疲弊しやすい家族の健康を守ることも大切です。お互いに声を掛け合い、見守り合う九戸村をつくっていきましょう。

(保健師 河村 侑乃)

健康生活で医療費の節約を

近年、国民健康保険(国保)の医療費が増えています。日頃から健康管理に努め、医療機関を上手に利用し医療費節約に努めましょう。

■ 健康が第一

医療費の節約には健康であることが何よりです。食生活と運動と休養のバランスが取れた生活を送ることを心掛け、不摂生な生活をしているときは見直し、健康な体づくりに努めましょう。

■ 早期発見と早期治療

健康管理には健康チェックが重要です。村や職場が実施する定期的な各種検診は必ず受診し、病気の早期発見とその治療に役立てましょう。

■ 医療機関へのかかり方

同じ病気でお医者さんを変えて受診すること(重複受診)や、必要以上に薬を欲しがることを控えることで、医療費を節約できる場合があります。重複受診は、初診料や検査料、薬代などの医療費がかかります。治療の不安から重複受診しがちな人は、納得するまで担当医師に質問し、治療の不

安を解消しましょう。

■ ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許期間が過ぎてから製造販売される後発医薬品のことです。開発費用が不要なため、薬の主成分や効能は同じで低価格のものがあります。担当医師・薬剤師に相談し、利用可能ときには利用することで医療費を抑えることができます。

■ 交通事故などによるケガ

交通事故など(第三者行為)のケガは、通常、加害者が治療費を支払いますが国保を使用することもできません。その場合、医療費を国保が立て替えた後に加害者に請求するため、国保担当に届け出をすることが法令で決められています。届け出には印鑑と保険証と人身事故の証明書が必要です。

また、加害者と示談するときには十分考えてから決めるようにしましょう。万が一に備え、自分や家族を守るために運転手は任意保険にも加入しましょう。

(国保担当 小野寺 さゆり)

納めた年金保険料は全額が控除対象

国民年金保険料は社会保険料控除として、その年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

控除対象は、平成29年中に納めた保険料の全額です。また、家族の分の保険料を支払った場合も、合わせて控除が受けられます。

平成29年9月30日までに保険料を納付した人には、11月上旬に日本年金機構から控除証明書が送ら

れます。年末調整や確定申告を行う時には、必ずこの証明書が保険料の領収証書の添付が必要です。

なお、10月から12月末日までの間に、今年初めて保険料を納めた人には、翌年の2月上旬に控除証明書が届きます。

国民年金は、税法上も老後も万一の時にも心強い制度です。保険料はきちんと納めましょう。

消防署だより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

たき火による火災に注意を

たき火による火災を起こさないために、次のことに気を付けましょう。

- 周囲に燃えやすい物がないかを確認し、安全な場所で行いましょう。
- 乾燥注意報が出ているときや、風の強い日はやめましょう。
- 必ず水バケツを用意してか

ら行うようにしましょう。

● 火の粉に注意し、やけどや着ている服に火が燃え移らないように気を付けましょう。

● 再び燃えないように、完全に火が消えたことを確認してから、その場を離れましょう。

村内の火災・救急（8月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
火災	0件	0件	-1件
救急	33件	192件	-22件

10月11日から10日間は全国各地域安全運動

■ 10月11日は安全安心なまちづくりの日

安全・安心なまちづくりを推進する機運を高め、住民の意識と理解を深めるために、毎年10月11日を安全・安心なまちづくりの日と定めています。

また、10月11日から20日までの10日間、全国各地域安全運動が実施されます。この機会に地域の安全安心について考え、できることから始めましょう。

■ 声掛けやつきまとい事案が発生

全国的に、子どもや女性が被害者となる誘拐や強制わいせつ事件が発生しており、県内でも、声掛けやつきまといなど、その前兆と見られる事案が発生しています。

不審な人物を見掛けた場合や被害に遭った場合には、すぐ警察に通報してください。

■ 後を絶たない、振り込め詐欺

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺が依然として後を絶ちません。電話でお金の話が出たら詐欺を

疑い、支払う前に家族や警察に相談しましょう。

■ 侵入被害の8割は無施錠

県内では住宅に侵入され盗難被害に遭った件数のうち、鍵を掛けていなかった割合が本年6月末時点で約8割と高くなっています。

岩手県警察では、県民の皆さんが安全に安心して暮らせるよう、関係機関や地域の皆さんと連携を図りながら、各種被害防止対策を推進しています。

各種活動に皆さまの理解と協力をお願いします。

村内の交通事故（8月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	3件	+3件
物損事故	9件	35件	-2件
負傷者	0人	3人	+3人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者 検挙	0人	1人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数… 1057日
(8月31日現在)



ありがとうございます

ふるさと納税

佐藤正隆さん（岩手銀行伊保内支店長）から8月、ふるさと納税として3万円の寄付をいただきました。

寄付金は、住みよい村づくりのために大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



労働者と使用者の トラブルは相談を

労働者と使用者との間のさまざまな問題について、県労働委員会委員が相談に応じます。

■日時 10月15日（日）
午後1時～午後4時

■場所 二戸地区合同庁舎
※他日時、他会場あり

■申し込み・問い合わせ 県労働委員会事務局（☎0120-610-797）

お詫びと訂正

広報くのへ9月号13ページの県畜産共進会の記事で、欠端浩美さんの出品牛に誤りがありました。正しくはローズ・ララモーニング・セブンデー号です。お詫びして訂正します。

消費税の 軽減税率説明会

二戸税務署と村では事業者を対象とした、消費税の軽減税率に関する説明会を開催します。

■日時 10月16日（月）
午前10時～午前11時30分
午後1時30分～午後3時
（午前、午後とも内容は同じです）

■場所 村山村開発センター
2階大集会室

■問い合わせ 二戸税務署（☎23-2701）

弾道ミサイル 発射時の行動

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが落下する可能性がある場合、村の防災行政無線からサイレンとメッセージが流れるほか、緊急速報メールなどによって情報が配信されます。

メッセージが流れたら落ち着いて、直ちに行動してください。

■屋外にいる場合

できる限り頑丈な建物や地下に避難する

■建物がない場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る

■屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する

●詳細は国民保護ポータルサイト（<http://www.kokuminhogo.go.jp/>）を確認ください。

■問い合わせ 村総務企画課庶務財政班（☎42-2111 内線166）

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
10	8	おりそ内科循環器クリニック	22-2251
	9	松井内科医院	33-2201
	15	管整形外科皮膚科クリニック	23-7311
	22	川村医院	23-3252
	29	いちのへ内科クリニック	33-2701
11	3	カシオペア医院	23-3331

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
10	8	菅原歯科クリニック	23-1180
	9	宮沢歯科医院	46-2953
	15	ほんだ歯科クリニック	23-9591
	22	小野寺歯科医院	33-3050
	29	岩淵歯科医院	32-2238
11	3	曾根歯科医院	27-3108

ごみ収集日 10月

収集区域	瀬内内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸田上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	10月2日(月)	10月3日(火)	10月16日(月)
空き缶	10月17日(火)	10月23日(月)	10月24日(火)
粗大ごみ	10月10日(火)		
紙・プラ類	10月12日(木)	10月18日(水)	10月26日(金)

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎ 住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123



衆議院議員総選挙・最高裁裁判官国民審査

10月22日(日)

午前7時～午後7時

投票日時

期日前投票

■期間 10月11日(水)～21日(土)

■時間 午前8時30分～午後8時

第48回衆議院議員総選挙は、10月10日に公示され、10月22日に投票が行われます。有権者の皆さんは、棄権することなく自分の判断で責任ある投票をしましょう。また、同時に最高裁判所裁判官国民審査が行われ、裁判官が職務に適切かどうか、意思表示できます。

当日に投票できない人は、期日前投票を利用ください。

多重債務の悩み 出張個別相談会

専門相談員による多重債務出張個別相談会を開催します。

■日時 10月19日(木)

午前11時～午後3時

■場所 村公民館3階会議室

■申込期限 10月18日(水)正午まで

■申し込み・問い合わせ 東北財務局盛岡財務事務所理財課(☎019-622-1637)

体育センターで 就農相談会開催

農業に興味・関心のある人を対象に、知識や技術の習得方法について説明します。

■日時 10月29日(日)

午前10時～午後1時

■対象者 新規就農を希望している人、就農研修を希望している人、農家の後継者など

■場所 村体育センター

■問い合わせ 農林建設課農地農政班(☎42-2111 内線243)

人のうごき

(平成29年9月1日現在)

●人口	5,073人	(-8)
男	2,875人	(-7)
女	3,098人	(-1)
●世帯数	2,171世帯	(±0)

(カッコ内は前月比)

転入	9人	(65人)
転出	11人	(112人)
出生	0人	(15人)
死亡	6人	(64人)

(カッコ内は1月からの累計)

カシオペア安全安心 ちびっこまつり

■日時 10月18日(水)

午前10時～正午

■場所 二戸市民文化会館

■内容 近未来警察カシオペアによる防犯教室、県警察音楽隊による演奏と交通安全教室など

■問い合わせ 二戸地区防犯協会連合会事務局(☎43-3110)

編集後記

◆2頁から7頁に伊保内高等学校郷土芸能委員会の特集を掲載しました。ご覧になりましたか。◆悲願だった全国の舞台へ取材に同行。熱い思いを全身で表現する演舞に感動させられました。演技後に涙ぐむ生徒の表情にも心を打たれました。生徒や支援している人たちの努力の成果が、少しでも伝われば幸いです。(下村)



【男子】

種目	小学校名	学年	氏名	記録
100 ㊦走	江刺家	4	石川 涼雅	16 秒 15
	伊保内	5	小野家 嵩	15 秒 24
	戸田	6	山下 颯也	15 秒 12
200 ㊦走	長興寺	5	中村 蓮	32 秒 68
	山根	6	久保田瑠晟	30 秒 09
1000 ㊦走	山根	6	久保田瑠晟	3分 28 秒 35
走り高跳び	戸田	6	山下 颯也	1 m 22cm
走り幅跳び	戸田	6	山本 志道	3 m 24cm
ジャバリックボール投げ	山根	6	田澤 優成	46 m 48cm
400 ㊦リレー	戸田		高島一颯・亀梨剛 山下希風・山下颯也	1 分 03 秒 56

【女子】

種目	小学校名	学年	氏名	記録
100 ㊦走	伊保内	4	井上 芽依	17 秒 04
	長興寺	5	荒田 珠夢	14 秒 93
	長興寺	6	柴田 結衣	15 秒 74
200 ㊦走	長興寺	5	中野 結友	34 秒 28
	長興寺	6	柴田 萌衣	34 秒 60
800 ㊦走	戸田	6	山下 華歩	2分 55 秒 03
走り高跳び	戸田	5	岩渕 愛海	1 m 15cm
走り幅跳び	戸田	6	中澤 悠空	3 m 23cm
ジャバリックボール投げ	伊保内	5	松田 美雅	34 m 02cm
400 ㊦リレー	長興寺		柴田萌衣・荒田珠夢 中野結友・柴田結衣	1 分 03 秒 78

0.1秒でも記録を縮めようと自分の限界に挑戦した女子800㊦走



しなやかなフォームでジャバリックボールを投げる松田美雅さん（伊保内小5年）



体のバネを上手に使い、軽やかに跳躍する山下颯也君（戸田小6年）



最終種目、各小学校の威信をかけて代表4人がバトンをつないだ男子400㊦リレー

小学校陸上記録会

自分の限界に挑戦

村小学校陸上記録会は9月5日、村総合運動場で開かれました。記録会には村内5つの小学校から108人が参加。爽やかな青空の下、選手たちは集まった保護者たちの声援を受け、最後まで全力で競技に臨んでいました。

輝く陽光を浴びながら選手たちは、100㊦走や走り高跳びなど20種目において優勝を争いました。なお、今年か

らソフトボール投げはジャバリックボール投げに変更。選手たちは慣れないボールに戸惑いながらも、記録を伸ばそうと精いっぱい自分の力を出し切っていました。

選手たちは、仲間の大きな声援を受けながら、自分自身を追い込み、限界に挑戦していました。競技の結果、優勝者と記録は次の通りです。（敬称略）